

## 「世代超え科学者の総力結集 新 NPO 法人が設立記念シンポ」

人材育成をはじめ日本が直面する様々な課題の解決は学界に限らず産業界、官界でも焦点の課題となっている。実際にいろいろな議論が交わされ、一定の対応もみられるものの、主導するのは功成り名を遂げた年長者がほとんどというのが現実だ。こうした中、30代から70代まで幅広い年齢層の科学者が課題解決の当事者として語り合い、共に新たな未来への道筋を社会に示すことを目指す特定非営利活動（NPO）法人が誕生した。この新法人「ウッドデッキ」の設立記念シンポジウムが12月12日に開かれ、活発かつ一味違った議論が展開された。



設立記念シンポジウムであいさつする渡辺美代子特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事（ウッドデッキ提供）

### 科学者は課題解決の当事者

ウッドデッキは、渡辺美代子設立代表者名の設立趣意書（5月23日付）で、日本社会が直面している課題は山のようにたくさんあり、新しい解決方法が求められているものばかりだ、とする厳しい現状認識をまず示している。社会の課題を真剣に受け止める当事者としての科学者の取り組み、特に若い科学者が未来を拓く力になることが必要だ、としている。同時に多くの経験と多くの知識があるシニア科学者が若い科学者を支える責任の大きさも強調し、30代から70代まで幅広い年齢層の科学者が組織的に活動するためにNPO法人を立ち上げたことを明らかにしている。

新法人の代表理事には渡辺氏が就任し、氏の考えに賛同した濱口道成日本医療研究開発機構先進的研究開発戦略センター長（前科学技術振興機構理事長・元名古屋大学総長）、山極壽一総合地球環境学研究所所長（前日本学術会議会長・前京都大学総長）、モンテ・カセム国際教養大学理事長・学長らシニア科学者が新法人の理事に名を連ねる。会員には中堅、若手研究者が多い。

12月12日に開かれた設立シンポジウムでは、まずシニア世代のカセム氏、中堅世代の寺本華奈江 島津製作所分析計測事業部マネージャー、若手世代の楠山譲二 東京医科歯科大学テニュアトラック准教授が、それぞれ感じている世代間ギャップについて報告した。続いて山極氏のほか会員、さらにオンラインで参加した多くの人々がメタバースによる意見交換を行い、最後に総合討論という形でさらに議論が続いた。



総合討論の様子(右から渡辺美代子氏、山極壽一氏、楠山譲二氏、寺本華奈江氏、モンテ・カセム氏)＝ウッドデッキ提供

### 若者活躍しにくい科学界変革

新法人として初の大きな行事となった設立シンポジウムで、今後の活動に活かせる成果は得られただろうか。渡辺美代子ウッドデッキ代表理事に新法人設立にこめた思いや設立記念シンポジウムで得た手ごたえなどを聞いた。

一新法人を立ち上げたきっかけ、なぜご自身がやらなければと思われたか、お聞かせください。

私がこれまで科学者として科学全般を見てきた経験から、日本の今の大きな課題は若い科学者が活躍しにくい環境にあることだと感じてきました。これまで長く働き続けてきた仕事を退職した機会であり、これからは自分のしたいことを全うできると考えました。その1つ目は、起業です。私は若い人たちに自ら起業することを勧めてきましたが、自分自身には経験がありません。ぜひ自分でも何かを立ち上げてみたいと考えました。2つ目は、これまで培ってきた人たちとの信頼関係をベースに新しいことを始めたいという思いです。さらに、これまで共働きで貯めてきた財産を社会のために使いたい、と。この3つの思いを実現するために、信頼できる仲間とNPO法人を立ち上げることを考えました。

—相談された方々の反応はいかがでしたか。

幸いなことに、相談した仲間は皆さん賛同してくれました。そして、負担がかかることも覚悟の上で、一緒にNPO法人を立ち上げてくれました。その仲間がウッドデッキの創設メンバーです。

—科学者というのは比較的、ものの考え方や資質において共通するものが多いと思います。にもかかわらず、世代を超えた自由、闊達な語り合いが意外に行われて来なかった理由についてどのようにお考えですか。またその結果、どのような悪影響が生じていると。

これまでの日本社会はヒエラルキーを基本とした組織が中心でした。科学もその例外ではありません。ヒエラルキーが大事であったため、科学関係の組織も世代を超えて闊達に語り合うことは難しく、その結果、若者の意見が社会にも科学にも反映されにくい状況になってしまったと思います。未来を担う若者と子供たちのため、若者に焦点をあてて未来を考えることがとても重要だと考えました。ただし、若者に単に任せるだけでは多くの批判に押しつぶされてしまう可能性があります。それを回避するため、社会から信頼されているシニアが支えることが有効ではないかと考えました。

### 世代と専門を超えた自由な議論

—設立記念シンポジウムでは、メタバースによるディスカッションが、思い切った試みのように感じました。この企画はどのような思いあるいは狙いから生まれたのでしょうか。

このシンポジウムは、まずウッドデッキの若いメンバーが話し合っただけで基本的な構想を考え、その中心的メンバーが担当になって企画を考えてくれました。メタバースによる議論は私たちシニアには思いつかず、若者だからこそ提案できたものです。正直言うと、私にはメタバースの経験がなかったため不安もありましたが、若者を信じて任せました。結果としては、若者にとっては若干物足りなかった部分もあったでしょうが、シニアには

メタバースを体験するよい機会になったと思います。そして、世代を超えた議論ができたのが何よりでした。

世代を気にせず自由に科学の議論ができるということでは、これまでも学会という場がありました。しかし、学会は同じ専門の科学者が集まる場であり、専門を超えて議論することはありません。総合知が求められる現在、世代だけでなく専門を超えて自由に科学の議論をする場が必要で、ウッドデッキはその場になることを目指しています。

—その他、今回のシンポジウムで狙った新しい試みとそのたごたえ、成果についてお聞かせ願います。

ウッドデッキは若い科学者の活躍を支え、育成することが目的です。ただし、若者が自由に活躍しようとしても批判を受けやすく、思うように進まないことが多いのが現実です。そのため、社会から信頼を得ているシニアにも参加いただき、そのシニアと議論しながら一緒に考え、世間からの批判はシニアが受ける、という方針で進めていくつもりです。今回のシンポジウムはその最初の試みでしたが、若者を信じて任せ、シニアと一緒に考えるという目標は十分達成できたと思います。

—今後の新法人の活動をどのように展開されるおつもりでしょうか。その影響がどのような形で現れることを期待されますか。

若者が中心になって、科学について世代を超えて皆が対等に、そして自由に議論する場を提供することがウッドデッキの大きな目標です。今回のシンポジウムはその最初の一步でしたが、これからはさまざまな課題について、課題とその対象を変えながら、展開していきたいと考えています。若い科学者や科学者を目指す子供たち、そしてその周りの人たちが、科学に関与することに躊躇することなく、科学を身近に感じて楽しんでくれることを期待しています。



渡辺美代子氏プロフィール 東芝研究開発センターで半導体研究開発を担当。カナダ・

ダルハウジー大学ポスドク、東芝研究開発センター技術管理部門長、科学技術振興機構副理事を経て、2022年8月からNPO法人ウッドデッキ代表理事、同年10月から日本大学常務理事。2018年6月から内閣府STEM Girls Ambassador（理工系女子応援大使）も。2017年10月～2020年9月、日本学術会議第24期副会長も務める。理学博士。

日文 小岩井忠道（科学記者）

#### 関連サイト

特定非営利活動法人「ウッドデッキ」<https://www.wooddeck.org/>

ウッドデッキ設立記念シンポジウム <https://www.wooddeck.org/symposium>

#### 関連記事

2022年11月30日「促進科学发展的性别差异研究，日本学术会议提出政策见解」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_keji/kgjp\\_kj\\_etc/pt20221130000002.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_etc/pt20221130000002.html)

2021年07月08日「調査：日本博士升学率下降的理由主要是经济原因」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_jiaoyu/kgjp\\_jy\\_gdjy/pt20210708000002.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20210708000002.html)

2021年04月26日「日本科学研究调查：对基础研究和政府预算的危机意识增强」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_keji/kgjp\\_kj\\_etc/pt20210426000003.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_etc/pt20210426000003.html)

2021年04月21日「日本东北大学前校长：让创新从大学开始萌芽」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_jiaoyu/kgjp\\_jy\\_gdjy/pt20210421000003.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20210421000003.html)

2021年04月09日《日本国会议员与年轻科学家交换意见，加深对共同制定政策的理解》

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_keji/kgjp\\_kj\\_etc/pt20210409000001.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_etc/pt20210409000001.html)

2020年06月23日「日本学术会议建议体育厅长官重新审视基于科学依据的体育价值」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_shehui/kgjp\\_sh\\_jiaoyu/pt20200623000001.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_shehui/kgjp_sh_jiaoyu/pt20200623000001.html)

2019年11月18日「日本开始制定第6期科学技术基本计划，专家对现状忧心重重」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_keji/kgjp\\_kj\\_etc/pt20191118000004.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_etc/pt20191118000004.html)

2018年10月03日「改革十年，日本大学生的资质和能力未见提高」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_jiaoyu/kgjp\\_jy\\_gdjy/pt20181003060003.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20181003060003.html)

2018年06月27日「日本学术会议的社会影响力」

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_jiaoyu/kgjp\\_jy\\_gdjy/pt20180627092833.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20180627092833.html)